

試合番号 : 388		試合会場 : 日立市池の川さくらアリーナ				観客数 : 538	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:56		試合時間 : 01:56		主審 : 服部 篤史	
副審 : 渡部 菜保子		通算		7勝 10敗		通算	
日立Astemoリヴァーレ		ポイント : 21		25 第1セット 23		東レアローズ	
監督コメント	コロナ禍のなかで開催にご尽力いただいた皆様、各方面から応援してくださった皆様に感謝申し上げます。その後、練習をすべく、課題を明確にして、チームで共通認識を持って取り組んでまいりました。最終接戦で苦しい場面もありましたが、皆様の応援のおかげで、粘り強く最後まで戦い抜くことができました。明日も総力戦で頑張りますので、引き続きご声援をよろしくお願ひします。		3	25 第2セット 23		1	今日の試合は相手ディフェンスに対して、なかなか攻撃のリズムを作ることができず、シャットアウトされる場面も多く、課題の残る内容となりました。明日の試合は修正点をしっかりと確認し、全員で勝利をつかみにいきたいと思ひます。本日もたくさんの応援をいただき、ありがとうございました。
	21 第3セット 25						
	27 第4セット 25						
	第5セット						
	要約レポート						
第1セット、序盤、日立Astemoリヴァーレは長内、東レアローズはクラムにトスを集める。中盤、東レは流れを変えようと白井、西川を投入。日立Astemoも雑賀、オクム大庭を投入して一進一退の攻防が続く。最後は日立Astemo長内がスパイクを決め、セットを先取した。第2セット、序盤、東レは石川のサーブから得点を重ね、優位に試合を進める。その後も東レは安定したサーブから攻撃を組み立てる。劣勢の日立Astemoは、野中のサーブをきっかけに反撃モードになる。途中出場したオクム大庭のスパイクが連続で決まり追いついた日立Astemoが、逆点でセットを連取した。第3セット、東レは西川、クラムのスパイクがテンポよく決まりリードする。日立Astemoは上坂に代わって出場した室岡が気を吐いたが追いつくことはできず、東レがセットを奪った。第4セット、日立Astemoは雑賀、オクム大庭をスタートから起用する。中盤、日立Astemoがそのオクム大庭の連続ブロックで抜け出す。後がない東レは、クラム、石川にトスを集め、接戦に持ち込み激しい打ち合いが続いたが、最後は日立Astemoの渡邊がブロックを決め、熱戦の終止符を打った。							
試合番号 : 390		試合会場 : 四日市市総合体育館				観客数 : 348	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:07		試合時間 : 02:07		主審 : 佐々木 伸子	
副審 : 岡田 崇		通算		0勝 17敗		通算	
トヨタ車体クインシーズ		ポイント : 1		17 第1セット 25		岡山シーガルズ	
監督コメント	厳しい状況が続く中でも、少しずつ向上している部分はあります。しかし、どうしても勝ちたい、という思いが溢れすぎて力みにつながり、勝負所を逃してしまっています。この壁を破って、自信を持って勝てるように応援して下さる全ての皆様の顔を思い浮かべて、次の試合も全力で挑戦します。コロナ過でも安全に試合を準備して下さった方々に感謝申し上げます。配信や会場での応援もありがとうございました。		1	25 第2セット 27		3	第2セットの負けパターンから粘った勝ちには、本来の結束した良い流れが出ていたように思ひます。惜しまれるのは、第3セットのスタートにややほつとしたことで、相手に隙を与えてしまったことです。第4セットは切り替え、チーム力で良い流れを作り出すことができました。コロナ過の中、会場に足を運んで下さった皆様はもとより、空間を超えての熱い応援に応えるべく、更にチームのレベルアップを図りたいと思ひます。本日はありがとうございました。明日も引き続きよろしくお願ひします
	25 第3セット 22						
	16 第4セット 25						
	第5セット						
	要約レポート						
現在リーグ9位の岡山シーガルズと12位トヨタ車体クインシーズとの対戦。第1セット、岡山は、金田、高柳(有)、川島などのアタックでリードする展開で試合を進める。トヨタ車体は、大川、ケルシー、嶋原のアタックなどで追いつけるが、岡山は、佐藤、及川のアタックなどで追いつけず、セットを先取した。第2セット、岡山は金田のアタック、川島のブロックで先行するが、トヨタ車体も、ケルシー、周田のアタックなどで追いつくなど、序盤は、一進一退の攻防となる。トヨタ車体は、嶋原の3連続サービスエースや大川、ケルシーの強烈なアタックなどで逆点し、後半4点リードをするが、岡山は、高柳(有)、川島、佐伯のアタックやブロックなどで追いつき、デュースにもつれ込む。最後は、及川と金田の連続アタックで逆点した岡山が、このセットも取った。第3セット、トヨタ車体は、ケルシーのアタックや杉原のノータッチエースなどで8-5とリードしてファーストテクニカルタイムアウトを迎える。中盤、岡山は、佐伯、遠藤、及川のアタックなどで逆点する。どちらも譲らず、終盤までもつれたこのセットは、ケルシー、敷田、周田のアタックなどでトヨタ車体がセットを奪い返した。第4セット序盤、トヨタ車体は先行する。しかし、すぐさま岡山は、川島や高柳(有)、このセットから入った吉岡のアタックなどで逆点する。中盤に高柳(有)や金田のアタックなどでリードを広げた岡山が、そのままセットを取り、この試合に勝利した。							
試合番号 : 391		試合会場 : ヴィクトリーナ・ウイंक体育館 (姫路市立中央体育館)				観客数 : 668	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:35		試合時間 : 02:35		主審 : 北村 友香	
副審 : 中口 岳		通算		4勝 13敗		通算	
ヴィクトリーナ姫路		ポイント : 14		19 第1セット 25		KUROBEアクアフェアリーズ	
監督コメント	まずはこのコロナ禍の中、無事に試合を開催できたことに感謝致します。今日の試合では様々な雑念や障害がある中でも、「やり抜く」意志の強さがけ付けていたと思います。ホームゲームで応援いただいた皆様に大変申し訳なく思ひます。スキルや戦術面での反省だけでなく、今日のゲームで絶対に勝つというメンタルを持ち続けたかどうかもしっかり振り返り、明日のゲームに臨みたいと思ひます。		2	25 第2セット 17		3	ヴィクトリーナ姫路のホーム2連戦は、連勝を目指して臨んだゲームでした。第1セットは、レシーブからラッツ選手、コクラム選手にボールを集め、良いリズムを作ることができましたが、第2、3セットは出足から先行され、苦しいゲーム展開となりました。しかし、途中から入った小杉選手、菊池選手の頑張りで第4セット、第5セットを取り、勝利することができました。この勢いを大切にし、明日の2戦目も戦いたいと思ひます。今後ともご声援よろしくお願ひいたします。
	25 第3セット 21						
	23 第4セット 25						
	13 第5セット 15						
	要約レポート						
2022年ホーム初勝利を収めた現在リーグ10位ヴィクトリーナ姫路は、同11位KUROBEアクアフェアリーズを迎えての一戦。第1セット、KUROBEは、ラッツの高さのあるスパイクでリードし、姫路はブラクのサーブや佐々木のスパイクで食らいつく。しかし、KUROBEの緩急のある攻撃が芽え、このセットを先取する。第2セット、姫路は真包のスパイクが決まり、流れをつかむ。KUROBEは、道下、島田の攻撃で中盤に追いつくが、勢いに乗っている姫路がこのセットを取り返す。第3セット、姫路の勢いは止まらず5連続得点で相手突き放す。一方、KUROBEは、セッターを菊池に代え流れを変えようとするも、姫路・櫻井の多彩なトスワークで相手を翻弄し、姫路がリードのまま連取する。第4セットに入ると、KUROBEは細沼のブロード攻撃を仕掛けると、姫路は孫田の力強いスパイクで攻め、両者一歩も譲らない。終盤では1点を取り合う展開に、この日一番の盛り上がりとなる。KUROBEはリベロ立石の固い守備で粘りを見せつけ、このセットを取り返す。第5セット、序盤から長いラリーが続く。KUROBEは小杉、コクラム、姫路は、真包、ブラクの両エースのスパイクが決まり大接戦となるが、最後はKUROBEが競り勝った。							
試合番号 : 392		試合会場 : 久留米アリーナ (福岡県立久留米総合スポーツセンター体育館)				観客数 : 810	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:19		試合時間 : 02:19		主審 : 木内 誠二	
副審 : 江口 祐一郎		通算		10勝 5敗		通算	
久光スプリングス		ポイント : 31		18 第1セット 25		PFUブルーキャッツ	
監督コメント	久し振りの試合ということで、入りの部分でつまづき難しい試合でしたが、相手よりもまずは自分たちのやるべきことを第2セットから修正でき、立て直すことができました。相手のサーブに押され、苦しい部分もありましたが、我慢して得点に繋げることができました。明日に向けて修正し、今日より良くなれるよう、それぞれの役割を果たしていきたいです。難しい情勢ではありますが、明日も会場や画面越しでの応援よろしくお願ひします。		3	25 第2セット 12		2	フルセットの戦いができるまでチームとしては成長したのかも知れませんが、負けてしまっても残念です。また明日も試合があるので、明日は勝てるよう頑張りたいと思ひます。本日も沢山の応援をありがとうございました。
	22 第3セット 25						
	25 第4セット 22						
	15 第5セット 12						
	要約レポート						
6位久光スプリングスと7位PFUブルーキャッツとの今シーズン初戦。第1セットは、鍋谷と志摩の連続得点でリードを広げたPFUがセットを先取する。一方、第2セットは、鍋谷のアタックと平山のブロックを含む連続得点で一気にリードを広げた久光が、流れを渡すことなくこのセットを奪いイブーンとした。続く第3セット、久光は中盤に石井が立て続けにアタックを決め、一気にリードを広げたが、PFUも徐々に調子を上げてきたバルデスのアタックとジャンの速攻で追いつき、志摩の連続得点で逆点し逃げ切った。後がなくなった久光は第4セット、中盤から井上(愛)、石井のサイド攻撃、アキンラデウォのブロード攻撃で得点を重ね、このセットを奪って試合を振り出しに展した。第5セットは、鍋谷に代わって入った堀口とジャンの活躍でPFUがリードする展開となった。しかし久光は井上(愛)のアタックと平山のサービスエースなどで追いつき、その後も中川のサービスエースやアキンラデウォのブロード攻撃で逆点すると、最後は長いラリーから石井がアタックを決め、接戦をものにした。2022年初戦となった久光は苦しい試合展開であったが、久留米でのホームゲームを勝利で飾った。							